

## < 中世の油川 >

現在、笛吹市石和町にある東油川と、甲府市にある西油川町は、もとは一つの油川村だったと言われています。その油川の地を勢力基盤とし、姓を改めたのが、武田信玄たけだ しんげんの父・信虎のぶ とらの叔父にあたる、油川信恵あぶら かわ のぶ よし(生年不明～1508年)です。信恵が住んでいた居館跡は、調査区から北東400mに位置する、現在の泉竜寺といわれており、当遺跡との関係性も十分に考えられます。信恵にはじまる油川氏に関する研究は、これまで数少なく、貴重な調査事例となるでしょう。